

努力が実った高校生活

二〇二四年三月に卒業した先輩方を代表して、松尾惟知花先輩（※スーパー特進コース卒業）、山本純平先輩（スーパー特進コース卒業）、山本楓先輩（※総合進学コース卒業）の三名に取材した。卒業式直前の取材では勉強やクラブ活動に打ち込んだ思いを聞くことができた。

Q、進路先を選んだ理由は？
松尾 「中国の文化や中国語に興味があり、大学でより深く学んでみたいと考えたからです。」
山本純 「建築に関心があり、その中でも特にデザインについて詳しく学ぶことができるからです。」
山本楓 「経済学や経営学を学びながら留学にも挑戦し、英語のスキルを磨きたいと思ったからです。」
Q、進路はいつ頃決めましたか？
松尾 「高校二年生の秋頃です。」
山本純 「高校一年生の冬頃から。」

Q、進路先での目標は？
松尾 「専門知識を身に付けるとともに、留学等新たな事に挑戦していきたいです。」
山本純 「専門的な技術を身に付け、一級建築士の資格を取りたいです。」
山本楓 「プレゼンテーションやグループワークを通して、コミュニケーション能力や課題解決力を養いたいです。」

Q、高校生活で力を入れたことは？
松尾 「日々の勉強と生徒会活動です。オンライン留学や演劇活動にもチャレンジしました。」
山本純 「勉強の合間に、建築に関わる書籍を読んだり、有名な建築家の建物を見に行ったりしました。積極的に興味のある建築に関わっていたと思います。」
山本楓 「英検の取得です。毎日通学時間に英単語を勉強したり、放課後には先生に補習をして頂きました。努力が実って二級に合格することができました。」



松尾 惟知花先輩
お茶の水女子大学文教育学部



山本 純平先輩
岡山県立大学デザイン学部

Q、高校三年間で最も成長できたことは？
松尾 「生徒会活動や部活動を通して、様々な人の意見を受け止めて調整しながら、より良いものにしていくという姿勢が身に付きました。」

山本純 「建築に積極的に関わる中で、自主的に行動する能力を養えたと思います。」
山本楓 「自分で考えて行動できるようにになりました。例えば、勉強面では試験当日から逆算して計画を立てました。やるべきことが明確になり、時間配分等を考えながら取り組むことができました。」

Q、高校三年間で経験した印象深い出来事は？
松尾 「生徒会の代表としてオーブンスクールの司会や準備をしたことです。東洋大姫路の魅力が伝わりやすいうちにスライドや動画も作成しました。本番に向けてたくさん練習し、当日は話し方等にも気を配りました。」

山本純 「東洋大学への訪問です。実際に大学の雰囲気を感じることができた良い機会でした。」
山本楓 「所属していた応援指導部での活動です。野球部の応援では、一生懸命応援することで勝利につながり、大きな喜びを得られました。」

生徒会での印象深い経験

Q、やる気を出す方法は？
松尾 「まずは無理のない目標を立て、少しずつハードルを越えていくようにしました。」
山本純 「具体的な将来像を持つことが大切だと思います。その将来像を実現するために、目標を立てていけば、自然とやる気が出てきました。」

Q、将来の夢は？
松尾 「研究者です。中国語や文学の面白さを多くの人に伝えていきたいです。」
山本純 「建築士になりたいです。使いやすさとデザインが両立した高齢者のための建物を設計していきたいです。」



山本 楓先輩
甲南大学マネジメント創造学部

山本楓 「大学での学びを活かしながら、マーケティング職に就きたいと思っています。」
Q、中学生に向けてアドバイスはどうぞ！

松尾 「コツコツと勉強する姿勢が大切です。授業の復習はその日のうちにやり遂げましょう。その方が効果的です。高校に入学したら、色々なことに挑戦してみてください。」
山本純 「自分が興味を持ったことに対して、積極的に取り組んでほしいです。」

山本楓 「何事も最後まで諦めずに取り組んでください。最後までやり切ることで、結果以上に大きな経験を得ることができると思います。」

東洋新聞

共に高め合う高校生活

本校には生徒の進路実現に向けたコース制が導入されている。まず最初に国公立大学への進学を目指す「Sコース」について二年生の足立稜太さん、前原朱里さんに取材した。

国公立大学進学を目指すコース

Q、本コースの魅力は？
足立 「勉強に対して積極的に取り組めるようになります。僕は毎朝、一時間目が始まる前から教室で予習をしています。放



目標は国公立大学進学



夢を語る足立さん

課後も教室で復習をして、疑問点を先生に質問しています。」
前原 「授業でわからないところがあっても、先生はいつでも質問に答えてくれますし、友達ともお互いに教え合えるような学習環境が整っていると思います。」

Q、東洋大姫路に来て良かったことは？
足立 「先生方の授業はわかりやすく、自習室や図書室といった環境も整っているのが勉強面で困ることがありません。」
前原 「文化祭や体育祭、球技大会等イベントがたくさんあり、そのたびに学校全体が盛り上がる感じです。」



笑顔で語る前原さん

二〇二四年度 特別号
東洋大学附属姫路高等学校 新聞部
第一面：在校生に聞く高校生活
第二面：東洋大姫路の魅力
第三面：魅力的な設備の紹介
第四面：努力を積み重ねてきた卒業生の声

Q、苦手科目とその克服方法は？
足立 「英語が少し苦手です。まずは英単語を覚える習慣を大事にし、少しずつ単語力をつけていきたいです。」

前原 「私も英語です。英単語だけでなく、文法を覚える時間を確保する必要があると感じています。」
Q、目標の進路と将来の夢は？
足立 「僕は国公立大学に進学したいです。大学では化学について専門的に学びたいです。将来は化学の知識を活かせる企業に就職したいと考えています。」

前原 「私は国公立大学の経済学部に進学したいです。マーケティングについて学び、商品企画の仕事に就きたいです。」
Q、中学生に向けて、アドバ

多様な進路実現を叶えるコース

Q、勉強で工夫していることは？
石橋 「復習しやすいノートを作る。次に進学や就職等の多様な進路実現を目指す「Tコース」について、石橋音央さんと伊濱朝陽さんに取材した。」



陸上競技部の石橋さん

Q、将来の夢と目標の進路は？
石橋 「将来は介護士になりたいです。介護の資格を取れる大学に進学したいと思っています。」

伊濱 「大学に進学し、経済学を学びたいです。その後、世界的に活躍できる会社に就職したいです。日々成長していく社会に対応できるようにしていきたいです。」

Q、勉強とクラブ活動を両立するコツは？
石橋 「私は陸上競技部に所属しています。自宅が遠いので、毎日帰宅した後に長時間勉強す



弓道部の伊濱さん

作り、宿題を一つ一つ丁寧に取り組むことです。」

伊濱 「学力を伸ばすためには特に復習をすることが大事だと思っています。覚えたことを忘れないように繰り返しながら学習に取り組んでいます。」

Q、将来の夢と目標の進路は？
石橋 「将来は介護士になりたいです。介護の資格を取れる大学に進学したいと思っています。」

伊濱 「大学に進学し、経済学を学びたいです。その後、世界的に活躍できる会社に就職したいです。日々成長していく社会に対応できるようにしていきたいです。」

Q、勉強とクラブ活動を両立するコツは？
石橋 「私は陸上競技部に所属しています。自宅が遠いので、毎日帰宅した後に長時間勉強す

文武両道で夢を実現

魅力的な設備の紹介

東洋大姫路自慢の学習環境

ホームルーム教室



情報棟のPC教室には最新のパソコンがずらりと並ん

コミュニケーションスクエア



また、クラブ活動の活動場所としても重宝され、たくさん

PC教室



万端な体育館で、とてもきれいだ。

学習用の机も完備



また、先生方も授業の準備のために利用している。本の貸し出し期間は二週間である。普段は五冊まで借りる

中学生に読んでほしい本



『「ひめひやく」という、先生方のおすすめ本を百冊紹介した冊子があります。図書館では、その紹介本を実際に手に取ってみることができ、貸し出すこともできます。』と語ってくれた。

おすすめ本コーナー



中学生の皆さんは学校を見学した際に立ち寄ることができ、ぜひ足を運んで気になった本を手にとってもらいたいと思う。

まずは、二〇一三年から使用されている第一校舎だ。ホームルーム教室には一日中明るい日差しが差し込み、机や椅子もきれいで学習しやすい。各教室にはワイドプロジェクトが設置され、授業で積極的に活用している。

また、本校は全校舎で冷暖房が完備されており、一年間を通じて学習に集中できる。二〇一〇年にはICTに対応した第三校舎も完成しており、学習環境が日々進化し続けている。

そして、本校には三つの体育館が存在している。一つ目が第一体育館だ。ここは体育の授業はもちろん、東洋祭や球技大会、そして入学式や卒業式等でも使用している。



50周年記念ホール

卓球部の練習場所となっているが、体育の授業でもよく利用されている。

三つめの体育館は、50周年記念ホールと呼ばれており、通常は体育館なのだが、東洋祭や映画の鑑賞等のイベントがある際は、電動式の椅子を出し、体育館からホールへと様変わりするので、講演会の会場にもなる

生徒と本をつなぐ場所

次に本校の誇る図書館を紹介する。図書館は、図書職員室棟の一階にあり、とてもきれいで広々としている。私たちは、図書館利用者のために日々図書館で仕事をされている司書の方に話を聞いてみた。図書館には小説、文庫本、雑誌など約三万六千冊の本が置かれており、昼休みや放課後に多くの生徒が利用している。

図書館の開館時間は平日が十七時五十分まで、土曜日が十四時二十五分までだ。一年間あたりの入館者総数は約一万七千人であり、約四千冊の本が借りられている。また、先生方も授業の準備のために利用している。本の貸し出し期間は二週間である。普段は五冊まで借りる



季節ごとのテーマ展示

図書館には多くの種類の本や雑誌、そして大学入試の過去問が用意されているが、もし自分の読みたい本がない場合はリクエストをすることができ、本が届くとすぐに知らせてくれるようになっている。とても便利だ。司書の方に中学生にオススメの本を聞くと、麻希一樹著『「ひめひやく」の結成と、その結末。』濱野京子著『その角を曲がれば』の二冊を紹介してもらえた。

中学生の皆さんは学校を見学した際に立ち寄ることができ、ぜひ足を運んで気になった本を手にとってもらいたいと思う。

東洋大姫路の魅力

東洋大姫路について徹底調査！！



私たち新聞部は、東洋大姫路の雰囲気を見学に来てくださった中学生に知ってもらうために今回、特別号を作成した。

第一面には在校生の声を掲載している。文武両道を掲げる本校には様々な生徒が在籍している。充実した高校生活の様子を知ってもらいたい。

第二面では今年行われた文化祭の様子と入学後に利用することになる食堂について伝えている。

第三面には本校ならではの充実した施設と図書館の様子を掲載している。ぜひ、紙面から雰囲気を感じてほしい。

最後の第四面では卒業生の声を掲載している。本校で三年間を過ごした先輩方がどのような感想を持っているのか読んでほしい。中学生の皆さん！ 来年、本校でともに学びましょう。



盛り上がる東洋祭

本校の文化祭は「東洋祭」という名称で毎年六月に実施している。今年は合唱コンクールも新たに行われ、前夜祭と合わせて例年以上に熱気を帯びた行事となった。

東洋祭当日は、各クラスに会議室よりリモート配信されたオープニングセレモニーから始まった。生徒会が作成した動画も配信上映され、盛り上がりを見せた。その後、校内の各会場でクラスやクラブ等の出し物が発表され、賑わいを見せた。ダンス等の大がかりな発表も、入念な準備のもとで行われた。

様々な出し物と並行して文化部による展示も行われ、日頃の活動の成果を多くの



息を合わせる合唱

人達に披露する機会となった。

見学していた二年生の生徒は「色々な出し物を見て回っていますが、どこも充実しています。」「自分達のクラスの出し物は去年よりもクオリティが高くなりました。」と語ってくれた。

食べ物の模擬店では三年生の各クラスとクラブ有志が、ホットドッグ、焼き鳥、綿あめ、ドーナツ、ポップコーン、ペーパーカステラ、フルーツ飴、ワッフル、プチパンケーキ、ラーメン、たまごせんべい、焼きそば、他人井等を販売した。来年の東洋祭にはこの東洋新聞の読者が参加し、一緒に楽しめることを在校生一同期待している。



吹奏楽部の実演

きれいなカウンター



人気のタレカツ丼



わり定食だ。ボリュームのあるおかずに、ご飯、みそ汁、サラダ等が付いていてバランスも良い。

また、小腹が空いた時に助かるのが、きつねうどんだ。値段は三百円と安価でありながら、ふつくらとしたジューシーなおあげが食欲を満たしてくれる、生徒にとってありがたい一品である。

本校の食堂の営業時間は、三時間目の後の十分間の休み時間と昼休み、放課後となっている。ちなみに放課後は十六時まで営業している。

また、食堂では自分の教室まで持ち帰ることのできるパック弁当の販売も行っている。このパック弁当も人気商品だ。値段は四百円

食欲を満たす空間



きつねうどん

でボリューム満点。種類は目替わりで、とり照り弁当、唐揚げ弁当、とり天弁当、スタミナカツ弁当等たくさん種類がある。

食堂の方にとって、利用した生徒から、「とてもおいしかったです。」と言ってもらえることが食堂の仕事をしていて良かったと思う瞬間のようだ。そして生徒たちに安心して食べてもらえるように、普段から衛生面にも十分気をつけて真心を込めて調理している。

最後に食堂の方から皆さんに「多くの生徒に利用していただけるよう、日々メニューの創意工夫をしています。ぜひ足を運んでみて下さい。おいしいですよ。」と明るい声でメッセージがあった。魅力的な施設で、たくさん在校生が利用している場所なので、本校に入学したら一度足を運んでみてほしい。